

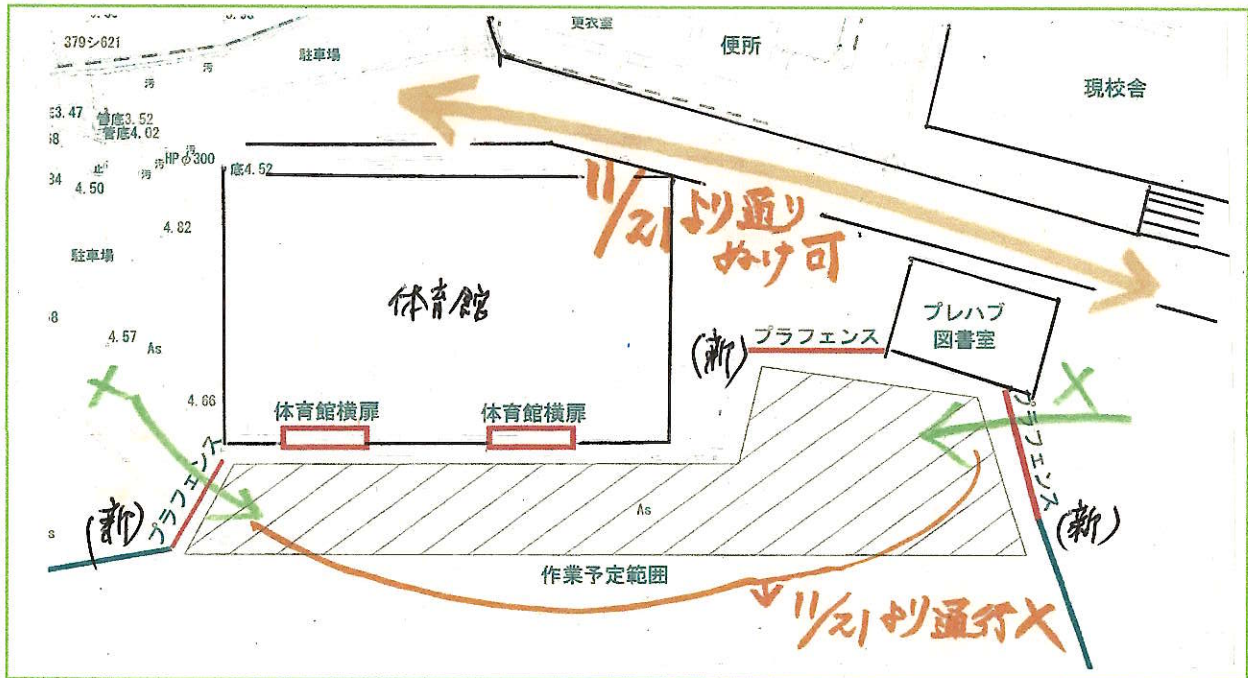


<工事に関する最新情報>

先日、体育館周辺の工事についてご紹介をしたばかりですが、この度変更と新規のお知らせがありますのでご案内します。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

体育館、図書室、校舎に囲まれた箇所の通り抜け道路の工期について

学校だより31号では10日間程度とご紹介しましたが、工事が早くなり、5日間程度の工期となりました。このことにより、11月21日(火)に取り抜け道路が使えるようになります。一方で体育館運動場側の工事が拡大され、体育館と運動場の間の道が使えなくなります。以下の図を確認いただき、ご来校時に備えていただきたく存じます。



左図のように、図書室と本校舎をつなぐ連絡通路も一部解体し、この重機があるところをアスファルトで固め、体育館裏へ通ずる通り抜け道路を作っています。正面玄関前であり、また図書室への連絡通路が交差していることもあり、完成後は通り抜け時に細心の注意を払っていただくようお願いします。

学校の風

地球上を作り出したのは「風」だといわれています。風の種類は世界に200以上もあります。学校にも風がふいています。私が考える風は、一般的な風の名称に結び付けた次の7つです。

- (1) **偏西風**【教育現場に吹き続ける大きく恒常的な風】…教育観、児童観、指導観、PTA活動
- (2) **貿易風**【大事なものに向かって吹く風】…めざす子どもの姿、めざす学校の姿、
- (3) **季節風**【その時期に特有な教育活動として吹く風】
…時季を生かした活動、行事等への取り組み、年間のPTA活動等
- (4) **局地風**【学年、学級で吹き続ける風】…学年、学級を中心とした取り組み、保護者との連携
- (5) **つむじ**【活動時に場面毎に吹きあがる風】…問題場面での必要な指導・対応

(6) 薫風【穀物(子ども)の間で吹くやわらかな風】

…個別対応、個に応じた指導、学びの環境・風土、教師や瀬保護者の個々の関わり

(7) 新風【新たな局面で吹く風】…子ども、教師、保護者が新たに発する力、新しい学校やPTAの関わり、多様化する指導、教育環境

(1)～(5)は何となくイメージしやすいと思いますが、(6)(7)についていえば、「内部から湧き起こる創造的な風」といえるかもしれません。子どもたちの人格形成の一助となる学校教育です。様々な風を大切にしながら、教育活動を展開していきたいと思っています。

(ココロねっこ運動研修会より)

「子どもの将来の幸福のために」 ～親の出番 地域の出番～

11月14日(火)シーハット大村で講演会がおこなわれました。

講師は、長崎ひまわりプロジェクト事務局長の 浦川末子先生です。「大人全員で、子どもの心を育てよう」というココロねっこ運動の考えから、主に以下の点についてお話しいただきました。

(1) 幼児期の育ちが人生を幸福にすること

子どもは入学する前に既に人生の半分以上を走っているという事です。子どもの一日は大人のそれよりも何倍も濃度が高い、などと言われる所以でしょうか。入学前までの大人との出会いや関わりが、その後の成長に大きく影響するようです。浦川先生は関わり方として、「3歳までに愛と言葉のシャワーを」をいわれていました。



〔稲刈りでご指導いただく様子〕

(2) 愛着形成の大切さ

子育て中に、しっかりと子どもを抱きしめることが大切です。このことは子どもを「受け入れる・守る」「どんなに悪くてもあんたほど好きな子はない」を、感じさせることになり、その後の子どもの安定に繋がるそうです。人間が幸福に生きていく上で最も大切なものが「愛着」であるとおっしゃっていました。安定した愛着が形成された人は対人関係においても仕事においても高い適応力を示し、不要な衝突や孤立も避けることができるそうです。

子育てにかかる5歳までの関わり…とっても大切です。私も反省させられます。

<学期末の特別日課について>

12月6日(水)から12月20日(水)の期間を現在の木曜日や金曜日と同様の日課とさせていただきます。理由は、授業時数確保のためです。

これまでのように5時間授業を展開する計画を進めると、授業時数確保が厳しくなる可能性があります。特にインフルエンザの影響を受け学級閉鎖が発生する事態が発生すると、高学年の時数がギリギリになったり、ともすると不足したりすることも想定されます。そのため今回10時間程度確保できるよう、このような対応を進めて参ります。どうぞよろしくお願ひします。

ちなみにこの期間の下校時間は、既にお知らせしたとおりです。あらためてご確認ください。

※ すっかり寒くなってきました。どうぞ寒さに負けず、お体には十分ご自愛ください。